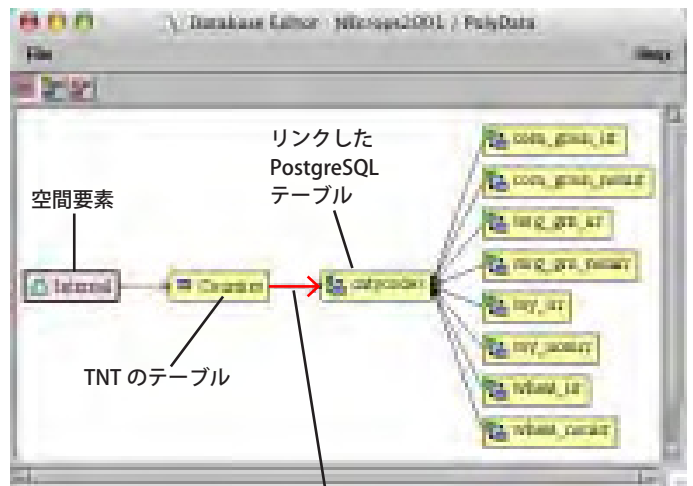
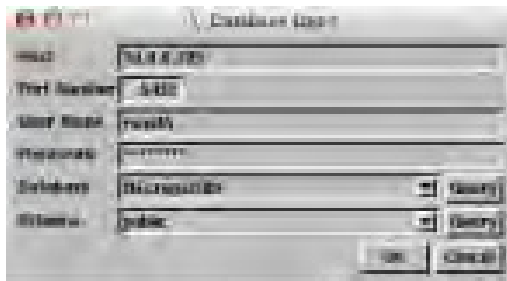
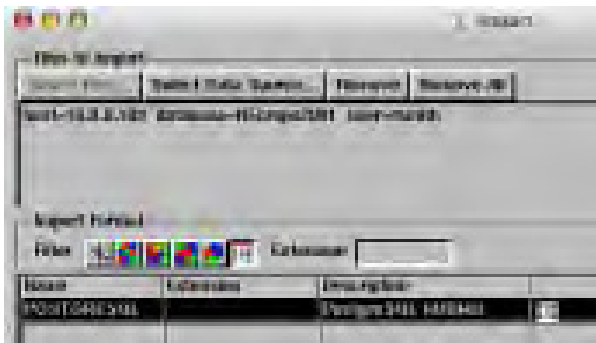


PostgreSQL データベースへのリンク

ご存知でしたか?... TNT 空間オブジェクトを PostgreSQL データベースの属性にリンクできます。

PostgreSQL データベースにリンクすることで...

- 空間属性をメインサーバーのリレーショナルデータベースで管理できます。
- 属性データを他のユーザやソフトウェアと透過的に共有できます。
- リンクした空間データはサーバーネットワーク内で移動可能です。
- 最初にデータベースのリンクを確立する時だけ、データベースへのログインが必要です。
- PostgreSQL のテーブル間の全キーフィールドの関連づけはリンクしても維持されます。
- リンクした PostgreSQL の属性に基づいて要素のスタイルとデータタイプを設定できます。
- 更新した属性値は、TNT でテーブルを開く時や再読み込み (リフレッシュ) の時にも自動的に反映されます。



PostgreSQL データベーステーブルにリンクした後、〈データベースエディタ (Database Editor)〉を使って PostgreSQL のルートテーブルと TNT のテーブルのキーフィールドを手動でリレートします。

PostgreSQL データベースにリンクする方法

- PostgreSQL のルートテーブルに主キーフィールドがあって、その値が TNT テーブルの値と一致することを確認します。
- 「Import(入力)」処理で、[POSTGRES SQL] 形式を選択します。
- [データソースの選択...(Select Data Source...)] ボタンを押して、希望のデータベースとスキーマにログインします。
- 〈インポートパラメータ (Import Parameters)〉ウィンドウの [リンクのみ (Link Only)] トグルをオンにします。
- PostgreSQL のテーブルへのリンクを含む TNT オブジェクトの要素データベースを選択します。
- リンクを作成したら、〈データベースエディタ〉を使って、リンクした PostgreSQL のルートテーブルを要素にアタッチした TNT テーブルにリレートします。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：
**地理データのインポート
(Importing Geodata)**



(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp